

「健康スポーツ科学研究」創刊号発刊によせて

健康スポーツ科学部 学部長 齊藤 恭平

新学部、健康スポーツ科学部の開設とともに、初年度よりこの学部の紀要である「健康スポーツ科学研究」が発刊できますこと心から嬉しく思います。原稿をお寄せいただいた先生方に感謝申し上げるとともに、特に原稿募集から編集など細かな調整役をお取りいただいた紀要編集委員会委員長の菊地章太先生はじめ委員の加藤和則先生、山下玲先生には心から御礼を申し述べたいと存じます。

健康スポーツ科学部構想は前身のライフデザイン学部健康スポーツ学科の先生方により10年以上前から話が進められていました。随分と長い年月をかけて構想された学部です。学部の設置準備委員会が発足してからも学内の様々な方々の議論を経てこの学部のコンセプトが形づくられました。学部名称を決める際には健康が先かスポーツが先かで大議論になったことを記憶しています。早稲田も立命館も「スポーツ健康」とスポーツが前に来ているし、スポーツに力を入れるためにも「スポーツ健康」という意見が多い中で、学科の先生方のコンセンサスは「健康スポーツ科学部」でした。ライフデザイン学部健康スポーツ学科卒業生のことも考え、また「人々の健康のためのスポーツを科学する」という、ライフ健スポのころからの学科のアイデンティティを引き継げたことは良かったと感じています。また一般的にはスポーツ健康科学部という名称が多い中で差別化もできたとも感じております。

健康スポーツ科学部には新たに栄養科学科が加わり、「健康」を科学するための視点をより厚くすることができました。そもそも健康のための要素としてスポーツ（運動）と栄養は切り離せない関係です。しかしスポーツと栄養の2つの学科を配するスポーツ系大学は数が少なく、こうした希少な学科構成のスポーツ系学部となれたことによって、スポーツと栄養の融合を学部の教育や研究に活かしていくことが重要だと考えています。そしてその成果を表明する場の一つとしてこの紀要が大いに機能することを希望したいと思います。

本学部設置準備委員会の最初の委員長であられた前学長の竹村牧男先生より、この学部の設置にあたって「スポーツによる人間価値の創造には哲学と科学と情熱が必要である」という素敵なフレーズをいただきました。私たちにはこれを合言葉に学部の教育と研究をまい進させる使命があると感じているところです。